



堅田くじら保育園だより 6月号

発行：大津市堅田1丁目7-18
TEL 548-8288 Fax 548-8287



雨の日が多い季節になりました。室内での遊びが多くなる時期ですが、子どもたちは室内でも汗ばみながら元気に遊んでいます。気温や室温にも注意し水分補給に心がけ、熱中症にも気をつけながら快適に過ごしていきます。梅雨ならではの活動も取り入れながら雨の日も楽しく過ごせるようにします。



★ シャワー・プール遊びについて

梅雨の時期は、じとじとと湿度が高くむし暑くなってきます。汗をかくことも増えてきますのでシャワーをして汗を流し清潔に・快適に過ごせるようにしていきたいと思います。汗をかくことの多い6月～9月の間、気温や活動等により行います。着替え等のご準備をお願いします。

また、水あそびや泥んこあそび等水を使ったあそびが増えてきます。子どもたちが存分に楽しめるように、汚れてもいい服で登園してください。

7月半ばからはプールあそびも予定しています。幼児は水着・水泳帽、乳児は水あそび用オムツのご準備のご協力もお願いします。

※現時点での予定です。今後の状況により変更になることがあります。

★ お願い ★

◎シャワーが始まります。健康チェック表を必ず記入し、毎日持ってきてください。また、体調面で気になることがある場合は職員にお知らせください。

◎衣替えの時期です。長袖から半袖・半ズボン等の準備をお願いします。

◎毎月の集金は月末までをお願いします。

職員配置のお知らせ

うみチーム 花染

だいちチーム 星野・渋谷

あめチーム 板垣・松井

6月から、だいち・あめチームの担任を以上のように変更します。保護者の皆様にはご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。

6月行事

1	火	そら・くじら午睡開始
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	身体測定0・1歳児・幼児
11	金	スポーツ教室・身体測定2歳児
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	避難訓練
17	木	
18	金	誕生会
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	交通安全カンガルー教室
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	

★ 7月の予定

7日(水)七夕の集い

9日(金)身体測定0・1歳児・幼児

12日(月)身体測定2歳児・プール開き

19日(月)避難訓練

21日(水)スポーツ教室

28日(水)避難訓練(不審者)



新型コロナウイルス感染症対策として園児もマスクの着用をしているところですが、変異株の感染が広がり終息が見えない状況にあります。園における感染症対策を強化することを目的に引き続きマスクを着用しながら水分補給を行い、感染防止に努めていきたいと思えます。ご理解とご協力をお願いします。



子育てメモ

自己主張とわがままの違い

自分が誰であるかわかるようになる 2 歳前後の子どもたちは、大人の指示などに対して「イヤ」「ダメ」と拒否の言葉を発し、「自分のことは自分で決めたい！」と言わんばかりに自己主張をはじめようになります。いわゆる自我の芽生えです。人とぶつかりあうこともありますが、相手に自分の思いを理解してもらい、自分の要求を言葉であらわすことはとても重要です。自分の思いどおりにしようとする=自己主張することで、相手の意図やお身に気づき、何ごと自分の思いどおりにとはならないことを学んでいきます。それではわがままとは何でしょうか？

わがままではというと、他人の迷惑などを考えず、自分の思いを押し通すことです。この時期の子どもは、自己主張もわがままでも分別がつきません。だからこそ、大人の判断が大事で、自分さえよければ他人はどうなってもいい、という子どもの主張に対しては、「それは困るよ。〇〇ちゃんがイヤだっていってるよ」などと伝え、要求をより社会的な方向へ。人とのかかわりの中で、要求が通されるものであるかどうかを知っていく力をつけていくことが求められます。ところが、大人の機嫌しだいで要求が通ったり、通らなかつたりと一貫性がないと、子どもは混乱します。気まぐれな大人ほど、わがままを育ててしまうのです。

自己主張を尊重しつつも、一貫性をもって、どういう要求が通り、どういう要求が拒まれるか、受け入れられるものと拒否されるものを子どもがかぎわけの力をつけさせることが、大人の役目です。人はひとりでは生きていけません。他者の立場を知らせつつ、我慢できる力をはぐくんでいきたいですね。

今井和子 著より抜粋



子どもの自己主張につきあうのは大変なことです。子どもは自分の思いを通そうとすべてのエネルギーを出して主張してきます。大人が同じようにエネルギーを出してしまうと意地のはりあいになってしまうこともあるでしょう。ここは一息入れて…まずは「〇〇したかったんだね。」「こっちがよかったんだね。」と子どもの気持ちを代弁してあげましょう。子どもは自分の思いがわかってくれたと思うと安心します。そして、小さな選択肢を子どもに与えて、大人がやってほしい方向へとすすめていきます。子どもは、自分の思いをわかってくれたこと・自分で選んだことにより時間はかかっても気持ちを切り替えて次へと向かうことができます。

小さくても一人の人間として尊重することが大事です。子どもたちと生活するものとして大事にしていきたいですね。

